

カートパトリックの「4段階評価モデル」と評価の実施状況

レベル	評価項目	説明	データ収集のツール（例）	評価の時期	防災スペシャリスト養成研修での実施状況
1	反応 (Reaction)	受講者は教育に対してどのような反応を示したか？ ○受講者の研修に対する「好感度」を問う。 ○「この研修はよかったですか？」などの多段階アンケートや、「良かった点、改善点を要する点を自由に書いてください」などの自由記述回答を集め、研修講師の評価や次の研修への準備に用いる。	アンケート	受講後	単元毎アンケート 最終日アンケート
2	学習 (Learning)	どのような知識とスキルが身についたか？ ○事前・事後の筆記テストや実技テストなどで測られる研修における「学習成果」を測定する。 ○「とても良かった」との反応を得ても必ずしも十分に学んだかどうかは定かではないため、反応だけに留まらずに学習も評価する。	筆記テスト	受講後	単元テスト 全体テスト
			パフォーマンステスト	受講後	なし
3	行動 (Behavior)	受講者はどのように知識とスキルを仕事に生かしたか？ ○研修の成果が職場（仕事）に戻ったときに生かされ、「職務行動の変化」として現れるかどうかを問う。 ○学習は成立した（レベル2）が、学んだことが活用されていない（レベル3）の場合には、そもそもその研修は行う意味があったのかが問われる。	フォローアップ調査	一定期間経過後	なし
			上長アンケート	一定期間経過後	なし
4	結果 (Result)	教育は組織と組織の目標にどのような効果をもたらしたか？ ○教育研修が「組織全体」にもたらした価値を問う。 ○レベル3の行動変容が「組織全体」としてプラスになったかどうかに着目する。 ○投資対効果（ROI：Return on Investment）が含まれる。	効果測定チェックリスト	一定期間経過後	なし
			ROI指標（投資対効果）	一定期間経過後	なし